

令和7年第1回太良町議会
(定例会第1回)

一般質問通告書

太良町議会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
2. 17	1	待永るい子	1. 高齢者独居世帯の増加と対策について 65 歳以上の高齢者の独居世帯が増加している。社会問題として語られる独居世帯の現状と今後の対策について以下について問う。 (1) 町内で 65 歳以上の独居世帯はどれくらいいるのか。 (2) 独居世帯を支える施策についてはどうなっているのか。 (3) 独居世帯を含む高齢者の住居の現状と問題点はどうか。	町 長
			2. タクシー事業の利用状況と今後の展望について 町内タクシー事業者の廃業に伴い、昨年より町外タクシー事業者に委託する形でタクシー事業が実施されているが、これから先はどのような事業を展開していくのか以下について問う。 (1) 事業開始からどれくらいの人が利用したのか。 (2) 委託料はどれくらいか。 (3) 現在の台数で十分なサービスができているのか。 (4) 今後の問題点についてはどのように考えているのか。	町 長
2. 17	2	山口 一生	1. 有明海再生と漁業のこれからについて 近年、有明海の海況は悪化の一途をたどっており、かつて宝の海と呼ばれた面影はなくなりつつある。将来にわたり、太良町の大切な要素である有明海と共生するために今何を出来るのかを改めて考え、対策を実行する必要があるため、以下について問う。 (1) 現在の有明海の海況はどのようになっているか (2) 現在漁業者は何名いるか。 (3) 海苔養殖の現状はどのようになっているか。 (4) 漁業者に対する行政からの支援はどのようになっているか。 (5) 漁業の後継者育成支援はどのようになっているか。 (6) 漁業への新規参入はどれほどあるか。 (7) 水産資源の維持・管理・回復において、どのような活動がなされているか。 (8) 有明海再生加速化対策交付金の内容と、本町における取り組みの検討状況はどのようになっているか。	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
2. 19	3	森田 政則	<p>1. 油津遊園地跡地の今後の計画について</p> <p>全国的に人口減少が進んでおり、太良町においても例外ではなく、高齢化率は40%を超えている状況にある。このような中で以下について問う。</p> <p>(1) 油津遊園地跡地について今後の利用計画はあるのか。</p> <p>(2) 一人暮らしや高齢者等が入居可能なアパートを作ってはどうか。</p>	町 長
			<p>2. 墓地の整備について</p> <p>太良町内には各所に墓地が点在しているが、急傾斜地も多く、高齢化が進む中で墓参りや管理に苦慮されていると聞く。そこで以下について問う。</p> <p>(1) 太良町で把握している墓地の箇所数はどうなっているのか。</p> <p>(2) 太良町の風光明媚な利点を活かして海を見渡せる丘に霊園を作ってはどうか。</p>	町 長
2. 19	4	峰 正雄	<p>1. 農業の基盤整備と生産振興について</p> <p>太良町には主要農作物である果樹みかんをはじめ多種の作物があるが、農業人口の減少、高齢化、担い手不足など様々な問題を抱えている。そのような中で、基盤整備事業が急務であると思う。スマート農業を活用し、技術を磨き稼ぐ夢のある果樹産業の確立のため以下について問う。</p> <p>(1) 果樹の種類と生産者数は現在どうなっているか。</p> <p>(2) 果樹生産者数の年齢別内訳はどうなっているか。</p> <p>(3) 町外からの新規就農支援を促す移住支援をできないか。</p> <p>(4) 太良町のほ場整備事業の進捗状況はどのようになっているか。</p>	町 長
2. 21	5	大鋸 美里	<p>1. 水道水への有機フッ素化合物 (PFAS) 混入について</p> <p>永遠の化学物質と呼ばれる有機フッ素化合物 (PFAS)。現在、日本各地での水道水への PFAS 混入が問題になっている。太良町における水道水への PFAS 混入の状況と町民の健康と生活への影響について問う。</p> <p>(1) 有機フッ素化合物 (PFAS) とは何か。</p> <p>(2) 身体面への影響はあるのか。</p> <p>(3) 町内の水道水の PFAS 検査の現状はどうなっているのか。</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
2. 21	5	大鋸 美里	<p>2. 子宮頸がん予防のヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンについて</p> <p>ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンは接種後の「多様な症状」が報告され、2013 年 6 月厚生労働省が積極的勧奨を中止しているが、2022 年 4 月から他の定期接種と同様に個別勧奨を開始している。そういった経緯もあり町民からも不安の声を聞いている。そこで、HPV ワクチン接種について問う。</p> <p>(1) HPV ワクチン接種による子宮頸がん予防の有効性はどうか。</p> <p>(2) 接種の対象年齢はどうなっているのか。</p> <p>(3) キャッチアップ接種とは何か。</p> <p>(4) 町内における接種状況はどうなっているのか。</p> <p>(5) HPV ワクチンの副反応はどのような症状があるのか。また、町内で副反応の症例が報告されているか。</p> <p>(6) 予防接種被害者救済制度の認定件数及び内容はどうか。また、町内での認定状況はどうか。</p> <p>(7) HPV ワクチン接種以外の子宮頸がん予防についてどのような対策があるのか。</p>	町 長